



tomoni  
GIFU PROJECT

TASCぎふコラボ展 vol.6

# とうせうの パッケージ

会ったことがない人たちの、箱の中の出来事

2020年

10月8日 木 ▶ 10月25日 日 9:00-17:00  
入場無料

ぎふ清流文化プラザ1F 文化芸術県民ギャラリー

出展者

豊住園 × コココ  
TERAMAKI (記録映像)

同時開催

豊住園の手づくり小物やクッキーなどの販売  
tomoniカフェ(ぎふ清流文化プラザ1F)カフェの開店日時のみ

「いろんなみんなの展覧会」(10月8日~11日)と連携したイベントを開催予定

# そうぞうの パッケージ



福祉施設とアーティストがチームを組み、関係性づくりから、創作、展示までを行う「TASCぎふコラボ展」。新型コロナウイルスの影響によって、これまで密な関係性や距離感を求めてきた方法自体を、根本から見直すことになった。対面することが困難な状況下で、アートとコミュニケーションについて、そして人と人のつながりについて再考する必要があるのではないか。

今回、福祉施設とアーティストが全く会わずに共同制作を行う。名前も顔も知らない人同士が、ダンボール箱を1週間ごとに郵送し合い、交互に箱の中に造形物を作り変化させていく。それは明確な意思疎通が必要のない、カタチで行う文通のようなものである。そして送られてくる造形物から、見知らぬ相手への「想像」と新たなカタチへの「創造」が生まれる。

展示会場には、約2ヶ月にわたる共同制作のプロセスと、造形した箱を展示する。対面のコミュニケーションから解放された共同制作を通して、どのようなつながりができているのだろうか。

## 豊住園

(瑞穂市)

瑞穂市にある障がい福祉サービスを行う多機能型事業所。就労継続支援B型(定員10名)では、菓子製造や販売の仕事をしている。生活介護(定員15名)では、地域の企業の仕事や刺繍をしている。最近はボランティアの協力を得ながら、マスクの製造や掃除など、自立に向けた日常生活を送っている。販売を通じて多くの方に出会い、互いに理解し合い、共に生きる社会を目指している。今回の企画には主に施設利用者のIとHの2人が制作に参加する。



## コココ

(ワークショップユニット)

N(造形表現)とK(コミュニケーション学)によるアートワークショップユニット。共同制作における創造性とコミュニケーションをテーマに、造形遊びやワークショップを制作している。言葉を使わずに共同制作をする「モノトーク・シリーズ」や、姿の見えない状態で紙の裏表から絵を描き合う「とくめいおえかき」などを展開。今回はワークショップではなく、郵送で共同制作をする企画の提案を行い、メンバー2人が実際の制作者として参加する。



## TERAMAKI

(映像作家)

イベントの映像演出、アーティスト撮影や映画、記録映像、アニメーション制作を行っている。主な作品に「ボールペンから生まれるノスタルジー」、「dancado～踊り続ける～」、「Mutuarhythm」など。現在、自主制作映画上映イベントを企画中。今回、制作の記録撮影と、それをまとめた映像作品を出展する。

## ぎふ清流文化プラザ

ともに、つくる、つたえる、かなえる

お問い合わせ

公益財団法人 岐阜県教育文化財団  
岐阜県障がい者芸術文化支援センター(TASCぎふ)  
〒502-0841 岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ1F  
☎ 058-233-5377(受付時間 | 8:30~17:15)  
FAX 058-233-5811  
□ <https://www.seiryu-plaza.jp/tasc/>  
✉ [tasc-gifu@g-kyoubun.or.jp](mailto:tasc-gifu@g-kyoubun.or.jp)

### アクセス

☑ 公共交通機関のご案内[岐阜バス]  
JR岐阜駅10番のりば/名鉄岐阜バスターミナルCのりば  
[メモリアル正門前]下車、徒歩1分

### ☑ 駐車場について

ぎふ清流文化プラザ駐車場(136台)  
駐車料金/3時間まで100円。それ以降30分ごとに100円。  
・駐車場には限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください。  
・障がい者手帳をお持ちの方は、駐車料金の減免があります。



**注意事項** コロナウイルス感染症の影響により、展示内容の変更または中止になることがあります。また、風邪症状のある方の来場自粛、マスク着用、手指消毒にご協力ください。